

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-259076

(43)Date of publication of application : 25.09.2001

(51)Int.Cl.

A63B 23/03

(21)Application number : 2000-070789

(71)Applicant : AMVOX EDUCATE:KK

(22)Date of filing : 14.03.2000

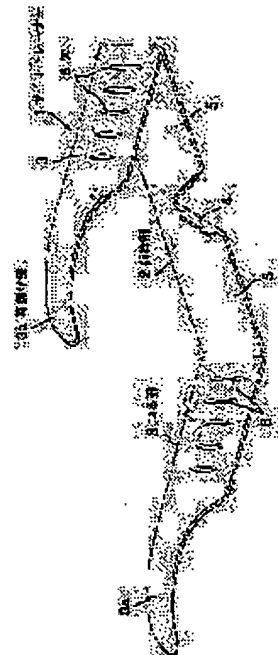
(72)Inventor : HOGUCHI YUSUKE

(54) SIGHT TRAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a sight trainer which is simple in structure, light-weight, inexpensive and convenient for portable use to allow a user to carry out the training of his/her eyes by moving his/her eyeballs anytime and anywhere.

SOLUTION: The sight trainer 1 of the shape of an eyeglass frame consisting of a front frame part 2 and temple parts 3 having earpiece parts 3a connected to both of the sides of this part 2 has holes 6, e.g. bored as indexes for visual recognition in the range of the visual field of the parts 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-259076

(P2001-259076A)

(43) 公開日 平成13年9月25日 (2001.9.25)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-ト* (参考)

A 6 3 B 23/03

A 6 3 B 23/03

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-70789(P2000-70789)

(22) 出願日 平成12年3月14日 (2000.3.14)

(71) 出願人 500118562

株式会社 アムボックスエデュケイト
東京都渋谷区神宮前4丁目11番6号

(72) 発明者 穂口 雄右

東京都渋谷区神宮前4丁目11番6号 株式
会社アムボックスエデュケイト内

(74) 代理人 100058479

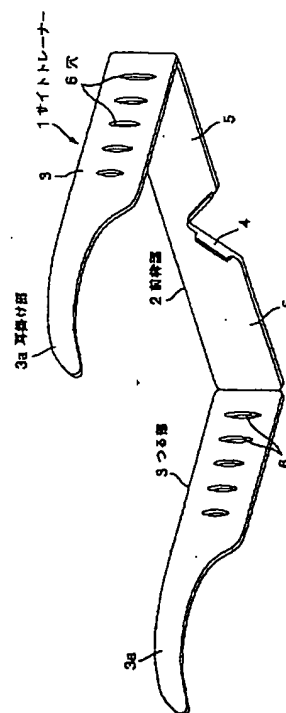
弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

(54) 【発明の名称】 サイトトレーナー

(57) 【要約】

【課題】 構造的に簡単で、軽量でしかも安価に提供でき、携帯に便利であり、何時でも何処でも眼球を動かして眼のトレーニングができるサイトトレーナーを提供することにある。

【解決手段】 前枠部2と、この前枠部2の両サイドに連結された耳掛け部3aを有するつる部3とからなる眼鏡フレーム形状のサイトトレーナー1であって、前記つる部2の視野範囲に視認用の指標として例えば穴6を設けたことを特徴とする。



.【特許請求の範囲】

.【請求項1】 前枠部と、この前枠部の両サイドに連結された耳掛け部を有するつる部とからなる眼鏡フレーム形状のサイトトレーナーであって、前記つる部の視野範囲に視認用の指標を設けたことを特徴とするサイトトレーナー。

.【請求項2】 前記指標は、つる部に設けられた1個または複数のマークまたは穴であることを特徴とする請求項1記載のサイトトレーナー。

.【請求項3】 前記指標は、つる部に前枠部の近傍から耳掛け部に向かって所望間隔を存して複数設けられていることを特徴とする請求項1記載のサイトトレーナー。

.【発明の詳細な説明】

.【0001】

.【発明の属する技術分野】この発明は、眼鏡と同様に掛け、眼球を左右に動かしてつる部に設けられた指標を視認することにより、視力の強化を図るためのサイトトレーナーに関する。

.【0002】

.【従来の技術】昨今、パソコンの普及に伴って文書作成、インターネット通信、Eメールの送受信等、ビジネスは勿論のこと、各家庭においても、パソコンの画面に向かって時間が長くなっている。また、児童や生徒においても、学校でパソコンを用いて授業する時間も多くなりつつあり、更には家庭ではテレビ放送やテレビゲーム等に熱中し、画面に向かって時間が長くなっている。

.【0003】従って、大人の近視や老眼は素より、子供においても視力の低下が著しく、眼鏡使用者、コンタクトレンズ着用者が多くなっている。

.【0004】近視や老眼は眼球を取り巻く眼筋が硬直し、目のピント調節機能が低下することが原因であると言われている。従来、眼筋を鍛え、目のピント調節機能の活性化を図るものとして、点滅する光を目で追うことにより、眼筋を鍛える電気機器が市販されている。

.【0005】

.【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前述した市販の電気機器は、高価であるとともに重量がある。しかも、両手で機器を持って目で覗くようになっているため、日常的に簡単にトレーニングを行うには制約があり、持ち運びにも不便であった。

.【0006】この発明は、前記事情に着目してなされたもので、その目的とするところは、普通眼鏡と同様に着用し、日常的に何時でも何処でも手軽に視力調節筋のトレーニングでき、しかも安価なサイトトレーナーを提供することにある。

.【0007】

.【課題を解決するための手段】この発明は、前述した目的を達成するために、請求項1は、前枠部と、この前枠部の両サイドに連結された耳掛け部を有するつる部と

らなる眼鏡フレーム形状のサイトトレーナーであって、前記つる部の視野範囲に視認用の指標を設けたことを特徴とする。

.【0008】請求項2は、請求項1の前記指標は、つる部に設けられた1個または複数のマークまたは穴であることを特徴とする。

.【0009】請求項3は、請求項1の前記指標は、つる部に前枠部の近傍から耳掛け部に向かって所望間隔を存して複数設けられていることを特徴とする。

.【0010】前述した構成によれば、普通眼鏡と同様に耳掛け部を耳に掛けることにより、前枠部の前面部が両目に対向する。この状態で、両目の眼球を意識的に左右に交互に動かし、左右のつる部に設けられた指標を視認することにより、眼球の動きに伴って眼球を取り巻く眼筋が鍛えられ、また酸素が供給されることから目のピント調節機能の活性化を図ることができる。

.【0011】

.【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

.【0012】図1～図3は第1の実施形態を示し、図1はサイトトレーナーの斜視図、図2は平面図、図3は使用状態の斜視図である。サイトトレーナー1は、例えば透明または半透明の合成樹脂材料によって一体に形成されており、前枠部2と、この前枠部2の両サイドに連結された耳掛け部3aを有するつる部3とからなり、全体として眼鏡フレーム形状に形成されている。

.【0013】前枠部2は横方向に長い帯状で、中間部における下縁部には逆V字状に切欠した鼻掛け部4が設けられ、鼻掛け部4を挟んで左右の前面部5、5は左右両目に対向するようになっている。

.【0014】左右のつる部3における前枠部2の近傍、つまり視野範囲には視認用の指標としての楕円形状の穴6が設けられ、この穴6はつる部2の長手方向に所定間隔を存して複数個設けられている。なお、穴6は楕円形状に限らず、長方形、三角形、正方形、円形、波形であってもよく、また穴6に限らず、マーク、図柄、文字でもよく、視認できる目印であればよい。さらに、つる部3を幅広く形成し、上下に指標を付してもよい。

.【0015】このように構成されたサイトトレーナー1によれば、普通眼鏡と同様に、鼻掛け部4を鼻に掛け、耳掛け部3aを耳に掛けることにより、前枠部2の前面部5、5が両目に対向する。

.【0016】この状態で、両目の眼球を意識的に左右に交互に動かし、左右のつる部3に設けられた指標としての穴6を視認することにより、眼球の動きに伴って眼球を取り巻く眼筋が鍛えられ、また酸素が供給されることから目のピント調節機能の活性化を図ることができる。このトレーニングを1日に数回、数分続けることにより、視力の回復を図ることができる。また、つる部3の上下に穴を設けた場合には、左右だけでなく、眼球を斜

め上下、つまり対角線を描くように動かすことができる。

【0017】サイトトレーナー1を掛けない状態で、両目の眼球を左右に動かそうとしても、眼球だけでなく頭も同時に動いてしまい視野の割には眼球自体の運動が小さな範囲であり、効果的でないが、サイトトレーナー1を着けることにより、頭を動かさないうえ、視認用の穴6を見ようとする意識が働き、最大限に眼球の動かすことができ、効果的なトレーニングができる。

【0018】なお、前記実施形態においては、サイトトレーナーを合成樹脂で一体成形したが、厚紙に製作してもよく、材質については限定されるものではなく、前枠部2に対して左右のつる部3がヒンジによって折り畳めるようにすることにより携帯に便利である。

【0019】また、前枠部2の左右の前面部5、5に近視用レンズまたは老眼用レンズを装着し、サイトトレーニングを行わないときには通常の眼鏡として使用することもでき、防眩ガラスを装着してサングラスとして使用することも可能である。さらに、通常の眼鏡に視認用の

指標を設けても同様な効果がある。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように、この発明のサイトトレーナーによれば、構造的に簡単で、軽量でしかも安価に提供できる。従って、携帯に便利であり、何時でも何処でもトレーニングができるという効果がある。さらに、指標を設けることにより、指標を視認しようとする意識が働き、最大限に眼球の動かすことができ、効果的なトレーニングができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1の実施形態を示すサイトトレーナーの斜視図。

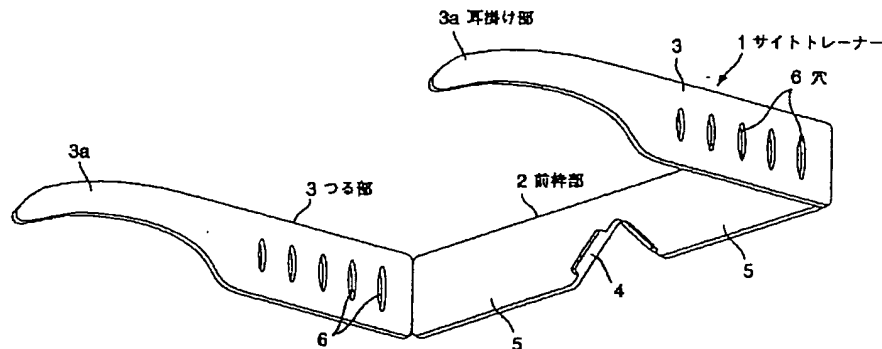
【図2】同実施形態の平面図。

【図3】同実施形態の使用状態の斜視図。

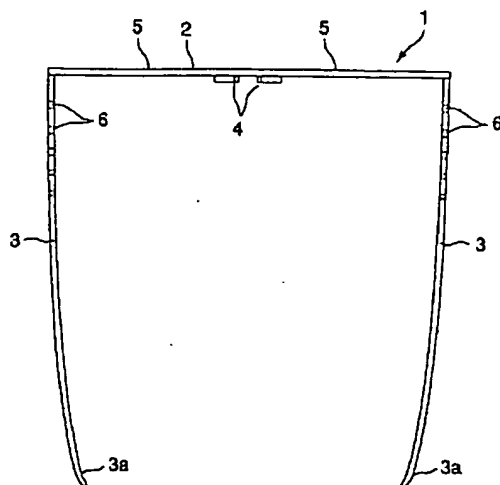
【符号の説明】

- 1…サイトトレーナー
- 2…前枠部
- 3…つる部
- 6…穴（指標）

【図1】



【図2】



【図3】

